

2020年4月23日

当院で安定冠動脈狭窄症に対し経皮的冠動脈形成術を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2013年1月～2017年12月の間に安定冠動脈狭窄症に対し初めて経皮的冠動脈形成術を受けられた方

【研究課題名】安定冠動脈狭窄症患者の予後予測因子に関する後ろ向き研究

【研究責任者】南長野医療センター 循環器科 医師 鈴木 翔

【研究の目的】食の欧米化や高齢化に伴い、虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞など）の罹患率・有病率は上昇傾向にあります。虚血を有する安定冠動脈狭窄症に対する加療としてはカテーテル治療（経皮的冠動脈形成術）が確立されていますが、急性心筋梗塞をはじめとした急性冠症候群と比較して、安定冠動脈狭窄症の治療適応や予後予測については更なる研究が必要なのが現状です。血液検査は比較的侵襲度が低く、簡便に全身状態を把握出来る検査です。血液検査で得られる情報から、安定冠動脈狭窄症患者様の予後予測の指標を報告することが本研究の目標です。

【利用する診療情報】

診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、家族歴、生活歴、内服歴、予後に関する情報（死亡や他院への入院歴、冠動脈の再狭窄など）、心不全などの入院歴、心臓手術歴、ペースメーカー・植え込み型除細動器留置の有無、身長、体重、肥満度、体表面積、血圧、脈拍、酸素濃度、心不全重症度・心機能分類、心電図：不整脈発祥の有無を含む、心エコー図検査、カテーテル所見（治療部位、ステントの種類、冠血流予備量比測定検査など）、採血データ：血液一般検査、生化学検査：腎機能・肝機能・栄養・電解質・糖尿・脂質・心筋/筋性酵素、脳性利尿ペプチド(心不全マーカー)

【研究期間】 研究許可日より 2023 年 12 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 南長野医療センター 循環器科 医師 鈴木 翔

電話 026-292-2261(代表)